

令和6年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	1	学校名	岐阜高等学校
------	---	-----	--------

学校教育目標 (教育方針)	<p>1 「百折不撓・自彊不息」の校訓のもと、不屈でたくましい精神力をもった人材を育成する。</p> <p>2 文武両道をモットーとして、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな人材を育成する。</p> <p>3 勤労を尊び、思いやりと奉仕の心をもって社会に貢献する人材を育成する。</p>	
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> グローバルリーダーとなるための資質を備え、将来世界で活躍したり、地域の活性化に貢献したりすることができる生徒 「生命」を大切にする心を持ち、他人の価値観の多様性を認め、互いを尊重できる人権意識をもった生徒 自己の能力や適性、興味を理解して自ら主体的に将来の進路を選択・決定する態度を持つことができる生徒
	生徒をどう育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> 知的好奇心を喚起し、主体的な学習態度や人間性を育成するための、質の高い授業の実施 将来の社会貢献につながるような、幅広い分野での専門的な内容の体験プログラムの提供 探究的な学びや個に応じた学びを重視した適時・適切な支援
	どんな生徒を待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> 不屈でたくましい精神力を持ち、知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性を、仲間とともに目指したいと考える生徒 勤労を尊び、良心や思いやり、奉仕の心をもって社会に貢献できることを、仲間とともに目指したいと考える生徒
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の指導力を向上させる学び合い文化の醸成 観点別学習状況評価から生徒自身が自らの学習を振り返り、次の学習に向かうことができるような支援体制の確立 多様化している生徒に対する教職員の多様かつ柔軟な対応 進路目標に対し、教科学力が備わっていない少数の生徒への指導 	
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標
	学校経営	①教職員の指導力の向上
	学習指導	①授業重視と主体的な学習態度の育成 ②全校体制による授業改善 ③探究活動による課題解決能力の育成
	生徒指導	①命を大切にする心や態度の醸成 ②人権意識の涵養と情報モラル意識の高揚 ③個に応じた適時・適切な支援
	進路指導	①教科学力の充実と進路希望達成のための支援 ②大学入試改革へ向けての対応 ③グローバルリーダー養成事業の活用

年度目標				年度末評価(自己評価)				
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的な取組・方策	県教育振興基本計画での 位置付け		達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学校経営	①教職員の指導力の向上を目指し、教職員が学び合える機会を確保するとともに、教職員が主体的に研修しやすい体制を整備する。	26	施策Ⅳ-26	①生徒・保護者アンケート、教職員の研修受講数				
学習指導	①学習に対する生徒による自己評価を充実させ主体的な学習態度を育てる。	8	施策Ⅱ-8	①面談シート、個人面談、授業アンケート				
	②ICTを活用するなど多様な授業形態で探究的な学習を展開する。	8	施策Ⅱ-8	②授業アンケート及びICT活用件数				
	③総合的な探究の時間における探究活動を通して、自ら課題を見つけ、多面的に捉え、主体的に問題を解決する能力の育成を図る。	8	施策Ⅱ-8	③生徒自身による自己評価(評価シート)、研究成果の発表				
生徒指導	①自他をかけがえのない存在と認め、互いを尊重し、命の大切さを実感できる活動を充実させる。	1	施策Ⅰ-1	①いじめアンケート、校内迷惑調査、心のアンケート、交通事故件数、命の尊さ講話アンケート				
	②他者とその価値観の多様性を認め、正しい人権意識の涵養を図るとともに、情報モラル教育を推進し、情報端末の適切な使用と情報モラルの向上を図る。	2	施策Ⅰ-2	②情報モラル講話アンケート、校内迷惑調査、ネットパトロール報告件数と内容				
	③教育相談活動を充実させ、個に応じた適時・適切な支援を行い、生徒の主体性を育成し自立を促す。	3	施策Ⅰ-3	③生徒・保護者アンケートの分析、生徒との懇談、教育相談・スクールカウンセリング活用状況				
進路指導	①基礎学力講座や学習相談会を実施し、生徒に寄り添いながら主体的に学習へ向かう態度を涵養する。基礎学力を定着させ、底上げすることで大学入学者選抜に耐える教科学力の充実を図る。	8	施策Ⅱ-8	①各種考査、外部模試の分析結果、学習状況調査の結果				
	②生徒が自己評価を行う機会や学校生活を振り返る機会を増やし、主体的に進路選択ができる態度を育成する。探究活動を充実させ、課題解決能力を育成する。	13	施策Ⅱ-13	②個人懇談による聞き取り、進路希望調査の分析、探究レポート				
	③各種プログラムへの積極的な参加を促し、自己の能力や適性の理解を促す。また活動の記録の作成し、将来を選択・決定をする能力を育成する。	11	施策Ⅱ-11	③学校評価アンケート、各種プログラムへの参加状況、活動記録の作成件数				

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和7年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和7年 月 日